

第 1 回富田林市観光ビジョン策定委員会会議録

産業まちづくり部商工観光課

1. 日時 令和 6 年 7 月 25 日(木) 午前 10 時～11 時 10 分
2. 場所 すばるホール4階会議室(旧秀月の間)
3. 出席者 【委員】
橋川委員、寺内委員、塩見委員、有村委員、藤原委員、赤崎委員、和泉委員
(佃委員欠席)
【事務局】産業まちづくり部:森木部長
商工観光課:山本課長、辻本課長代理、柏木係長、野村
4. 会議形態 公開(傍聴人 1 名)
5. 次第
 - 1、開会のあいさつ
 - 2、委員委嘱及び紹介
 - 3、会長及び副会長の選出
 - 4、会長就任あいさつ
 - 5、議題
 - (1) 会議の公開・非公開について
 - (2) 本市観光ビジョンの概要について
 - (3) 次期観光ビジョンの策定について(今後の方向性・予定等)
 - 6、その他

1、開会のあいさつ

事務局

定刻になりましたので、只今より、第1回富田林市観光ビジョン策定委員会を始めさせていただきます。私は、本日の司会を務めさせていただきます、商工観光課長の柏木でございます。よろしくお願いたします。このたび、皆さまに策定委員会の委員をご依頼いたしましたところ、お引き受けいただき、また、本日はお忙しい中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

2、委員委嘱及び紹介

事務局

委嘱状につきましては、事前に机の上に交付させていただいておりますので、後ほどご確認くださいませよう、お願い申し上げます。

それでは、本日が第1回目の会議でございますので、委員の皆さまから自己紹介をお願いしたいと思います。では、和泉委員から時計回りでお願いいたします。

<各委員 自己紹介>

阪南大学 国際学部 国際観光学科 教授 和泉 大樹

(公財)大阪観光局 観光事業部長 塩見 正成

南海電気鉄道 ブランド統括部 課長 有村 早苗

観光交流施設きらめきファクトリー 館長 赤崎 浩樹

亀の井ホテル富田林 総支配人 藤原 徹

富田林商工会 事務局長 寺内 一裕

富田林市観光協会 会長 橋川 光司

ありがとうございました。

本日、近畿日本鉄道の佃(つくだ)委員は、ご欠席のご連絡をいただいておりますので、ご報告いたします。

続きまして、事務局の紹介をさせていただきます。

産業まちづくり部 部長の森木でございます。

産業まちづくり部商工観光課 課長の山本でございます。

産業まちづくり部商工観光課 課長代理の辻本でございます。

産業まちづくり部商工観光課 の野村でございます。

そして、私は産業まちづくり部、商工観光課の柏木でございます。

委員の皆さまには、観光ビジョン策定委員会の委員としてご苦勞をおかけしますが、よろしく願
いいたします。

それでは、本日の会議開催に先立ちまして、配付資料の確認をさせていただきます。

資料の方はファイルに綴じておりまして、会議の次第、次に資料1本委員会の設置要綱、資料2
に委員名簿、資料3に会議の公開に関する指針、そして資料4に観光ビジョン実施計画、ござ
います。

それから、別途、富田林市観光ビジョンの冊子、富田林観光ガイドを配布させていただいており
ます。以上、そろっておりますでしょうか。

それでは、本日の議事に入らせていただきます。本来ですと、会議の進行は会長にお願いする
ところでございますが、会長の選出までの間、事務局において進行させていただきますので、よろしく
お願いいたします。

3、会長及び副会長の選出

事務局

それでは、会長・副会長を選出していただきたいと思えます。

富田林市観光ビジョン策定委員会設置要綱第5条の規定により、委員の互選によるとされてい
ます。皆さまからご推薦いただけませんかでしょうか。

委員

事務局一任で良いのではないのでしょうか。

事務局

事務局一任のお声をいただきましたが、他にご意見ございませんか？

ご意見ないようですので、事務局から提案させていただきます。

会長に、阪南大学の和泉委員、副会長には、富田林市観光協会の橋川委員に就任をお願いしたいと思いますが、皆さまいかがでしょうか。拍手でご承認いただけますでしょうか。

《拍手》

ありがとうございます。それでは、会長は和泉委員に、副会長には橋川委員をお願いしたいと思います。和泉会長は、お席の移動をお願いいたします。

(会長席に移動)

ありがとうございます。それでは、和泉会長にごあいさつをお願いいたします。

4、会長就任あいさつ

会長

委員長を務めさせていただくことになりました阪南大学国際学部国際観光学科の和泉と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

富田林市さまの観光行政とのご縁は、みなさまのお手元でございます『観光ビジョン』を作成する際、会長を務めさせていただきましたことに端を発します。策定当時は、観光立国の潮流の中、2020年の東京オリンピックの開催も控えつつ、我が国は観光のアクセルを踏み込んだ時期でありました。私自身、振り返れば、大学の講義において、インバウンドや地方創生などの文言を多用していたことを記憶しております。

ところが、言わずもがなですが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により観光を取り巻く環境は大きく変化した訳ですが、この『観光ビジョン』は、令和2年から6年度を対象とする計画ですので、この『観光ビジョン』も大きく影響を受けることとなりました。すなわち、したかったことができなかつたり、大きく形を変えたりと、富田林市における観光振興に関する展開にも大きな影響を与えることとなりました。オリンピック、万博、訪日外国人観光者、地方創生など、観光への機運の高まりが見られる中、「よし頑張ろう!」と思われていた観光事業者のみなさん、もちろん、ここにおられる商工観光課のみなさんも悔しい思い、フラストレーションの溜まることであつたらうと思います。

そして、観光需要の急速な回復が見られる今、できなかったことを振り返り、再考することにも考えを及ばせながら、多くの見識、ご意見のもとに、富田林市の観光のこれからを考えていく必要があるんだらうと考えるところです。

幸い、委員のみなさま方におかれましては、観光現場、観光関連現場でご活躍されている方々

でございます。大変に心強く感じているところです。

みなさまのお力添えのもと、富田林市のみなさまにとって有用な観光振興の指針の策定を目指したいと考えております。何卒よろしく願いいたします。

事務局

ありがとうございました。

本日は、委員定数8名中、7名の出席がございますので、「富田林市観光ビジョン策定委員会設置要綱」第6条第2項の規定に基づき、会議が成立しておりますことをご報告いたします。それでは、これより和泉会長に議事進行をお願いいたします。

5. 議題

(1) 委員会の公開・非公開について

会長

それでは限られた時間でございますので、委員皆さまのご協力を得て、進めてまいりたいと思えます。最後までどうぞよろしく願いいたします。早速、議事に入らせていただきます。議題(1)会議の公開・非公開について、事務局から説明をお願いします。

事務局

それでは、会議の公開・非公開についてご説明させていただきます。お手元の資料3の「会議の公開に関する指針」をご覧ください。指針では、審議会や協議会等の会議を公開し、市民にその審議内容を明らかにすることにより、市政の透明で公正な運営を確保するとともに、開かれた市政の推進に寄与することを目的としております。

指針の4.公開・非公開の決定でございますが、当該会議に諮ることとなっておりますので、ご審議をお願いいたします。

会長

ただ今、事務局から説明がございました会議の公開・非公開についてでございますが、いかがでしょうか。公開・非公開ですとか、部分公開、また、本策定委員会すべてにおいて、あるいは開催ごとに公開か否かを決定するなど、ご意見をいただきたいと思えます。

委員

4年ぶりだということもあり、隠すこともない観光なので公開で良いのではないのでしょうか。

会長

私も同意見であり、観光なのですべて公開という形で進めてまいりたいと思いますがよろしいでしょうか。

(各委員うなずく、反対意見なし)

それでは、本策定委員会については全て公開と決定させていただきます。また、議事録につきましては事務局の方で作成をお願いいたします。

事務局

承知いたしました。会議の公開につきましては、事務局で必要な手続きをさせていただきます。また、議事録につきましては作成後、会長にご報告のうえWebサイト上で公開していきたいと考えております。なお、議事録作成のため、会議を録音させていただきますのでご了承をお願いいたします。

会長

はい。では、そのようにお願いいたします。それから、傍聴の人数は何名といたしましょうか。

委員

場所も限りがあるので、席数のおり4名で良いのではないのでしょうか。

会長

それでは、4名と決定いたします。本日の傍聴希望者はおられますか。

事務局

本日、傍聴希望者が1名おられます。

会長

それでは、入室のご案内をお願いします。

(傍聴者入室)

それでは、議事を再開いたします。

(2) 本市観光ビジョンの概要について

会長

議題(2) 富田林市観光ビジョンの概要について、事務局より説明をお願いします。

事務局

ご説明させていただきます。

現在の第1期富田林市観光ビジョンは、平成30年より策定に着手し、令和2年3月に完成したものでございます。

策定当時の観光情勢につきましては、インバウンドの拡大や旅行形態の多様化など、観光の在り方が大きく変化しているという認識のもとで、今後の市の観光施策として、その変化に対応するために、本市が持つ観光資源にさらに磨きをかけ、積極的に活用していくことを目指すとしており、そのためには、本市の観光事業の方向性を明確に設定し、観光資源の活用策を検討する必要性があることから、将来的な観光客受け入れの整備等を含めた観光政策の柱となる観光ビジョンを策定いたしました。

観光ビジョン冊子 49 ページをご覧ください。ビジョンの重点項目としては、「歴史・文化を活かした観光振興」「農や自然を活かした観光振興」「外国人観光客の誘致」に取り組むこととしており、これらの目標を達成するために、別添資料4にございます実施計画を策定し、「魅力ある観光地域づくり」「観光情報発信の強化」「受入体制の整備促進」「広域観光・国際観光の推進」「多様な主体との連携」の5つの戦略を柱としているところでございます。計画期間が令和2年度から令和6年度の5か年となっており、今年度が計画最終年度にあたりますことから、策定委員会を設置し、今後の本市観光の方向性について、本日お集りの皆様方にご検討いただくことといたしました。以上でございます。

会長

ありがとうございました。

観光ビジョンについて、今年度が最終年度に当たります。挨拶でも申し上げましたが、コロナ前の状況で策定したものであるため、積み残し等々が多くあると考えられます。議題(3)で皆様には方向性を議論していただくことになると思います。

資料4の説明は次の議題でまとめてしますか。

事務局

実施計画については次の議題で説明させていただきます。

会長

では、そのまま議題を進めて、事務局に策定の方向性について説明いただき、まとめて議論して

もよろしいですか。

事務局

大丈夫です。

(3) 次期観光ビジョンの策定について(今後の方向性・予定等)

会長

では議題(3)次期観光ビジョンの策定について、事務局より説明をお願いします。

事務局

次期ビジョンの方向性について説明させていただきます。

現在の観光ビジョンの目標は、計画期間のうち、令和2年度から令和4年度にかけて新型コロナウイルスの影響により、人々の行動が大きく制限され、例年行ってきたイベントなどの観光活動がストップしたことから、達成できていない項目が多くあるのが実情でございます。

事務局といたしましては、これらの目標がビジョン策定当時、本市の課題を解決するために設定されたものであり、目標達成により課題解決にアプローチしていくという手法に変わりはなく、また本市の観光の在り方そのものにも大きな変化は生じていないと考えております。

加えて、社会情勢の観点から申し上げますと、来年4月には大阪・関西万博開幕を控えております。国内外から万博会場に観光客が訪れると予想されておりますが、この観光需要を大阪市内だけにとどめることなく、南河内地域にも呼び込むことが大きなミッションとなっていますことから、通常時の観光施策とは違う施策の展開が求められております。またアフター万博においても、現在とは違った観光の在り方が求められることも予想され、このような状況が観光ビジョンの改訂、いわゆる次期観光ビジョンを策定するタイミングと言えるのか、迷うところでございます。

一方、施策を進める中で次の観光ビジョン策定にはデータ取得、分析などが必要と実感しており、ビッグデータの活用も含めて数値的な材料も収集したいと考えております。

つきましては、現行ビジョンの計画期間延長及び目標項目や手法などを段階的軌道修正することなども含めてご議論いただけたらと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

会長

ありがとうございました。

今の説明の内容をふまえますと、先ほども申し上げましたが、令和2年度から令和4年度まで

コロナで大打撃を受け、計画していたことができなかったという背景があります。この資料は事前配布されていますか。

事務局

事前配布はしていません。

会長

されていなければ、一つ一つについて質問することは難しいかとは思いますが、事務局からの説明にもありましたように、事務局としては目的達成、課題解決に関しては大きな変化は生じていないということです。会長の私からはじめに発言することはあまり良くはないのですが、関西万博のことも考えて、私から先に意見をさせていただきます。

ビジョン 49 ページに関しては、これからの策定においても、大きくは変わらないのではないかと考えています。本来ならば、令和 6 年に新しい冊子を作るべきではありますが、積み残しが多いことからこのビジョンを 2~3 年延長し、できなかったことに取り組むこととし、また、大阪・関西万博の結果を踏まえて、万博後どうしていくのかということで、新しくビジョンを策定し冊子を作成するのはどうかと考えています。ただし、単なる延長ではなく、現行のビジョンに変更・修正を加えながらと考えていますが、この方向性はいかがですか。ご同意いただけますか。

委員

私は事前に観光ビジョンを見させていただきました。現在のビジョンは細部にわたって非常によくできていると思います。

ただ、令和 6 年度までの目標があるなかで、具体的にどのレベルまで達成しているのか、現在の立ち位置が分かりません。KPI や数値目標の達成状況を明確にできるのであれば、会長のおっしゃるとおり延長でよいと思います。3 つのテーマについては永遠に必要だと思っていますし、万博自体も半年あり、万博以降にしっかりと基準になるようなものを作っておくべきだと思っています。とは言いながら、コロナ以降観光に対する意識も変わっていますので、そこに対してどう見極めていくのかも必要ですし、現在の立ち位置を分かるようにしていただきたいです。

事務局

資料 4 に実施状況が記載されています。実際の計画内では数値目標があまりありません。そのなかでどういった形で目標達成するか考えながら事業を行っているところです。

(資料 4 順番に評価読み上げ)

委員

具体的な数値目標が無かったということですね。

事務局

おっしゃる通り、定量的な目標数値（観光入込客数など）は総合ビジョンで定めていますが、具体的な取組みの中では数値目標がない項目が多くなっています。

委員

インバウンドの傾向を見ていると、周遊観光というか、都市間構想というか、連携性など視点が変わってきていることがあります。目標値としてコロナ前からの富田林自身の変動数というのも、もちろんあると思いますが、世間的にはインバウンドは3倍、大阪には1000万人来ているのを、富田林市としてどう取り込んでいくのかを考えていくべきではないかと考えます。

会長

おっしゃるとおり、数値目標を設定するのは難しいところではありますが、できるところは立てていき、塩見さんのおっしゃるとおり、インバウンド等も考えた新たな目標設定を考えていくのが良いと思います。評価指標について質問ですが、総合計画はどうなっていますか。

事務局

観光入込客数であるとか、全体の数字になります。

事務局

令和2年の当初においては、自治体でインバウンドも含めた客観的に分析するツールが非常に高価であったりしましたので、現実的な活用想定が難しい状況でした。近年はビッグデータを扱えるようになってきておりますので、今後は分析に活用できるようにしていきたいと考えております。

会長

ご意見を頂戴しながら、今後進めていきたいと思えます。

延長という考えについては、みなさんいかがでしょうか。

委員

万博で様子を見まして、さらにブラッシュアップしていくのが良いと思えます。延長で良いかと思えます。

会長

では、ビジョンを一新し、新しい冊子を作るのではなく、現行のものを2～3年様子を見て延長す

るという方向性で進めていくこととします。なお、細かい内容は、アクションプランなどで、深く議論して決めていく必要があります。その時点で数値などのデータがあれば、事務局から参考資料として提示していただきたいと思います。

また、今後、議論するにあたり、資料の事前配布をお願いします。富田林で頑張っている皆さん、事務局も含めて日常で感じることなどのご意見も合わせてご意見いただけたらと思いますが、いかがでしょうか。

委員

サーバーファームは現状どうなっているのでしょうか。

事務局

指定管理が令和 6 年 3 月 31 日で終了しました。地権者との借用協議が整わず休園となっておりますが、良い方向には向かっています。並行して指定管理者を公募できるような手配をしているところです。指定管理者を選ぶにあたりまして、自由な発想で提案いただけるようにと考えております。

委員

実施した事業の来場者数など、具体的に測れるであろう数値結果につきまして、ご教示いただけたらと思います。SNS の発信についても、実施内容（写真は誰がとっているのか、フォロワーは何人か）なども知らないのので教えていただきたいです。発信について、今後どうしていいかということなど、検討した内容があれば教えてほしいと思います。

事務局

Instagram 運営に関しては委託せず市職員で撮影を行い、週 2 回投稿しています。富田林観光ガイドへの掲載箇所や、訪れてほしいスポット紹介などを発信をしています。令和 5 年度にかなりフォロワー数を伸ばしまして、フォローキャンペーンなどにより現在 1,110 人程度となっております。目標は 3,000 人です。発信力に繋がることなので、今後もフォロワーを増やしていきたいと考えています。委託も考えましたが、かなり高額です。

委員

アクセス解析はしていますか。オーガニックデータは出ているでしょう。知っておいたほうが良いと思います。

事務局

定期的に、投稿ごとのインプレッションは記録をとっています。

委員

インプレッションだけでなく、裏側にあるどこからどんな人がアクションしているのかを知っておくと、好まれる投稿の傾向が分かります。アクセス解析でも無料のものがありますので、Google アナリティクスなどを付けるだけで、どの記事になぜ反応したかが分析できます。すべてをプロに任せるとお金もかかりますので、これは無料でできるから良いのではないかと思います。また、今は写真の時代ですので、写真撮影だけでもプロに任せるなどしてはどうでしょうか。

会長

ありがとうございます。今の皆様のご意見を参考に今後に向けて考えていけたらと思います。予算的なものも難しいとは認識しておりますので、できる範囲でのこととはなりますが。みなさまのご意見も同様でよろしいでしょうか。

委員

ほぼ同じです。弊社での広報も同じですが、ある一定の基準で同じ担当がイメージを作り上げ、ブランド化を図っています。バラバラになると方向性がぶれますので、委託して、撮影や投稿を統一したほうがブランディングしやすいです。

会長

大変参考になるご意見をありがとうございます。

委員

寺内町において、住環境との共存が課題の観光地かと思いますが、コロナを経て住民の方々の反応やご理解は現状どうでしょうか。観光を受け入れていこうという機運が高まっているのか知りたいと思います。

委員

寺内町に関しての質問をいただきましたが、コロナで寺内町にお越しいただくお客様につきましても随分減りました。重伝建の町としても活動していく中で、住民の皆様からは従来通りの静かな住環境を気に入っており、壊したくないとの声が多く聞かれます。観光協会としても、寺内町をどの程度 PR してよいものかを気かけながら、徐々にイベントを行ってきた経過があります。一番古いイベントとして、じないまち四季物語の寺内町燈路は今年で 21 回目、春に 2 日間かけて実施する

約1万5~6,000人ほどの来場がある雛めぐりにおきましても、住環境を壊しているなどの苦情は来ておりませんし、徐々にご理解を得られてきていますので、まだまだもう少しお客さんを迎え入れられるのではと思っています。この6年間で随分小売店舗が増えてきましたが、土日営業のみが多く、日常的な営業としてはほとんど成り立っていないと思います。そういう状況ではありますが、寺内町の中で現在約30店舗ほど営業しています。

観光協会としては寺内町だけが観光ではないと思っています。金剛バスの廃線もあり、各観光地を巡る観光ルートを確立しづらくなっております。きらめきファクトリーにはレンタルの電動自転車も準備していますが、今のところサイクリングしながら周遊してもらうことしか思いつきません。亀の井ホテルまで自転車で登る人もいらっしゃいますので、観光スポットの周辺に店舗でも増えればサイクリングによる観光も増やせるのではと思っておりますが、今はマップを配布するだけでして、それ以上の具体的な手立てがないところです。

会長

寺内町もそうですが、委員が話した課題もふまえてアクションプランなどの方向性を考えなければならぬと思います。

寺内町について申し上げますと、阪南大学では市にサテライトラボを用意してもらい、活動している中での聞き取り調査では、住民の反応は半々で、観光は不要であるという方もいれば、観光は必要ではないかという方もいらっしゃいました。生活空間型観光として日常生活と文化財の保存・活用のバランスの取れた観光を寺内町から発信していこうと思っています。いろいろな問題があると認識していますが、町の方にも納得していただけるような観光振興を展開していく必要があると思っています。もちろん、寺内町以外の場所についても、アクションプランとしてきちんと方向づけしていけたらと考えています。

委員

富田林市内はアクセスが悪いため、ホテルと駅の往復しかありません。観光へ行きますという方に寺内町くらいしか案内ができません。もっと言いますと、一旦富田林駅まで出てから滝谷不動へ案内するなどしています。アクセスやサバーファームの問題は大きいと感じています。情報に触れる機会も少ないため、宿泊者に案内できる情報をもっと共有してもらえれば良かったです。来訪者に魅力を発信できるのにと感じておりました。

委員

寺内町での土日営業のみが多い原因は何でしょうか。

委員

店舗の経営は、女性が多い印象です。家族構成などの詳細はわかりませんが、趣味程度で休日にお店をやっているのかもしれませんが、そうでなければ、家賃を払って賄えているか心配になるような状況です。毎日開けてお客さんを迎えられたらもっと喜んでもらえると思いますが、なかなかそういうわけにもいきません。

委員

どちらが先かわかりませんが、土日しか営業していないのは、土日しか人が来ないからなのかもしれません。この10年くらいを見ていると、やはりお客さんが来るときにしかお店を開けたくないという印象があります。住んでいる方への配慮もあるかもしれませんが、開いてる時間も午前11時から午後3時くらいです。データ分析はできていませんが、朝、昼、おやつ、夜、呑みという5回の消費チャンスがあるのに2回しかつかめていないと思います。寺内町はキラーコンテンツであり、いずれは町にお金を落とす仕組みを作っておかないとブレるんじゃないかと思います。来訪者は月初が少なく、月末多い感覚です。マスコミやラジオの効果は高く、60代以上は放っておいても来られます。一番来られない20代から30代くらいを巻き込まないといけないと思います。SNSの件もそうですが、KPIを取ってはどうか。

会長

貴重なご意見ありがとうございます。そのあたりもふまえて考えていく必要があるかと思います。

委員

専門ではない部分もあるのですが、商工業者のお手伝いをしている中で、商業と観光は結びつきが深く、深くないと地域活性化につながらないと非常に強く思っています。今のビジョンの中では、観光と地域商業者が密接に関係しているという内容が見えづらいように感じます。観光客に向けて商売をしている方がほぼいらっしゃらない状況です。観光という大きなくくりがあって、それに向けて地域の商業者が連携していける形といいますか、商店会や地域としての観光に向けた取り組みを進めていけたらと思っております。

事務局

今年度、大阪府との連携事業として西口商店会の魅力向上事業が採択されまして、具体的には商店街でいろいろ体験するツアーを造成しましょうという内容です。商店街の団体と観光を結び

付けた取り組みなので、市としても支援していきたいと考えています。

会長

ありがとうございます。すべての方にご意見いただきましたが、他にはないですか。

委員

住民や商業者と、観光との接点がないと言いますのは、観光のメリットが分かりづらいのではありませんでしょうか。なぜ観光に力を入れるのか、観光のために我慢することないよう知ってもらうための目標設定が、もしかしたら必要なのではないかと思います。なぜ観光をやるのかを伝える段階に来ていると思います。GI認証の富田林の海老芋に関しましても、あまり周知されていないような気がします。どこで食べられるのかなどを関連して発信していけたら効果的ですし、せっかく唯一のものがありますので、もっと良く活かせたらと思います。

事務局

GI認証の海老芋は規定が厳しく、なかなか広めづらいのが現状です。高価なものでして、市内流通というよりは、京都などに出て行ってしまうものです。規格外の海老芋に関しましては、コロッケにするなど活用していました。今年度事業の中で、ツアー造成のひとつとして海老芋を使ったコンテンツを作れないかを検討しています。

会長

お時間いただきましてありがとうございました。

いろんなところで観光に携わっているなかで〇〇市など、タイトルだけ変えればどこでも使えるようなものは作りたくはありません。海老芋の話などもありましたが、地元の人しか知らないような地元ならではの魅力を吸い上げていきたいと思いますので、みなさま、次回からも活発なご議論をお願いいたします。

委員

最後に少し良いですか。今の話であった通り、唯一とか大阪一とかそういうのは強いと考えています。寺内町もそうです。GI認証も、城之門筋もそうです。インパクトが重要なので、それをどうやってひっかけていくかを考える必要があります。いろんな有識者から話を聞きますが、行政に頼りすぎるのは良くないのではと思っています。やっている人たちは行政以外で動いています。行政が悪いわけではありませんが、熱量を持った人たちが集まり動いていかないと、上っ面なものになるのではないかなと思っています。次回はそういった人たちと動いていけたらと思っています。

会長

おっしゃる通りですが、行政には行政にしかできない役割もあります。すべてを行政に頼るのではなく、頑張ってもらえる方には頑張ってもらえるような、そういう方が繋がっていくようなスキームを考えていきたいと思います。質疑応答については以上とさせていただきます。

多数のご意見を頂き、ありがとうございました。いただきましたご意見については、今後のビジョン策定に活かしていただきたいと思います。

6. その他

会長

皆さま方のご協力により、すべての案件を無事終了することができました。それでは、事務局から連絡事項などをお願いします。

事務局

皆さま、本日は、貴重なご意見、ありがとうございました。数値目標などのご意見もありましたので、それらをふまえて、第2回策定委員会において、今後の本市観光の方向性をまとめたものをお示しさせていただく予定でございます。第2回の開催は10月頃になるかと思いますがご協力のほど、よろしくお願いいたします。本日は長時間、ありがとうございました。

会長

では、以上をもちまして、第1回 富田林市観光ビジョン策定委員会を終了させていただきます。ビジョンを一新し、新しい冊子を作るのではなく、2年から3年延長する形で議論を進めてまいります。なお、アクションプランの中身などについては、次回以降、資料などをもとに考えていきたいと思っております。本日はみなさま、ありがとうございました。

事務局一同

ありがとうございました。